

業 績 目 録 記 入 要 領

I 記載にあたっては、下記の項目毎に欧文・和文に分け、それぞれ年月日の古い順に記載し、番号を付して下さい。また、各項目毎に頁を分けて記載して下さい。（必ず項目の 1 番目が頁の頭に来るように記載願います）

1. [著 書]

学術単行書に相当するもので、研究内容を記述したもの。担当した章とページ、編集者名、出版社名などが明らかであること。一般の啓蒙文（教養・指導に関わる文）または **Proceeding** などに掲載された論文要旨などは含まない。

2. [総 説]

学術雑誌または学術単行書に掲載されたもので、一定の学術領域の問題を賛否両論を取り上げてまとめ記載したもの。**reference** が掲載されていることが必要。

3. [原 著]

reviewer のいる学術雑誌に掲載されたもので、研究成果をまとめた研究論文。教育・研究に関わる課題であっても、**reviewer** のいない商業誌または業界誌に掲載されたものは含まない。

4. [症 例 報 告]

業界誌あるいは学会誌などへの症例報告。

5. [その他学術雑誌に掲載された論文等]

学会の論文要旨集、**Proceeding** などに掲載された論文要旨または **supplement**、また商業雑誌、特定の業界の広報誌などに掲載し、教育・研究に関与した課題を取り上げたもの。但し、教育研究に関わらないものは除く。

6. [国 内 学 会]

(イ) 特別講演、招待講演、教育講演

(ロ) シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ

※ 一般講演の記載は必要ありません。

(業績一覧に件数を記載してください。)

7. [国 際 学 会]

(イ) 特別講演、招待講演、教育講演

(ロ) シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ

(ハ) 一般講演

業績目録 (著書、学術論文、学会発表等の別にそれぞれまとめて記載してください。)

年 月 日

氏 名 兵 庫 太 郎 ④

著書（著者・題名・書名（編者）・初頁～終頁・発行所・年）、学術論文（
学会発表（演者・演題名・学会名・開催地・年）
（著者又は演者全員の氏名を記載順に記入し、本人の氏名にはアンダーラインを付すこと）

著書

(欧文)

1. Nishinomiya J. and Hyogo T. Interleukin 18. In: The Cytokine Reference, (Oppenheim, J. J., Feldmann, M., Duram, S., Hirano, T., Vilcek, J. and Nicola, N.A. eds.), 337-350. Academic Press, 2000.

(和文)

1. 兵庫太郎. 末梢性多発性ニューロパチー①分類・病態・診断. 西宮次郎 編. ペインクリニックと東洋医学. 625-628、東京：真興交易, 2004

総説

(欧文)

1. Hyogo T., Interleukin-18 regulates both Th1 and Th2 responses. Annu. Rev. Immunol. 19, 423-474. 2001 (IF 52.761)

(和文)

1. 兵庫太郎, 西宮次郎. 腸管寄生虫感染と宿主応答-IL-18 の線虫感染防御作用-. 蛋白質・核酸・酵素, 54(増刊), 1066-1072. 2009

原著

(欧文)

1. Hyogo T. and Nishinomiya J., Interferon- γ is a therapeutic target molecule for prevention of postoperative adhesion formation, Nat. Med., 14, 437-441. 2008 (IF 22.462)

(和文)

1. 兵庫太郎, 西宮次郎. アキレス腱付着部断裂を生じた治療抵抗性のライター症候群の一例. 日本臨床免疫学会会誌 ;31, 113-118 , 2008

症例報告

1. 兵庫太郎, 西宮次郎. 特発性一過性大腿骨頭萎縮症にcore decompressionを行った1例. 中部日本整形外科災害外科学会雑誌. ;53:321-322, 2010

著書（著者・題名・書名（編者）・初頁～終頁・発行所・年）、学術論文（著者・題名・雑誌名・巻・初頁～終頁・年）、学会発表（演者・演題名・学会名・開催地・年）
（著者又は演者全員の氏名を記載順に記入し、本人の氏名にはアンダーラインを付すこと）

国内学会

特別講演、招待講演、教育講演

1. 兵庫太郎. ラットの舌咽神経上神経節内の軟口蓋，舌根及び咽頭に分布するCGRP免疫陽性ニューロン. 第115回日本解剖学会総会. 盛岡，2010.3

シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ

1. 兵庫太郎，慢性非がん性痛における長期オピオイド療法における嗜癖，（シンポジウム）日本ペインクリニック学会第44回大会 京都，2010.7

国際学会

特別講演、招待講演、教育講演

1. Hyogo, T. and Nishinomiya, J., Our experience in using JSPEN guideline for surgery and critical care -Early enteral feeding in surgery and intensive care. 2nd annual meeting of Chinese Society for Parenteral and Enteral Nutrition, Nanjing, China, 2007

一般講演

1. Hyogo, T. and Nishinomiya, J., Sevoflurane suppresses surgical site infection compared to propofol. Annual Meeting of American Society of Anesthesiologists, New Orleans, U.S.A., 2009